

令和4年度 消防長「政策宣言」達成状況

消防長 竹内 秀樹

○ 令和4年度重要事業

事業名	社会情勢等の変化に対応した防火対策の推進
目 標	<p>市内で高齢者宅からの火災が相次いだことから、高齢者への住宅防火対策について、老人会、100歳体操等を活用するなど、機会をとらえて効果的に啓発します。</p> <p>また、高齢者人口の増加に伴い社会福祉施設の増加が予想されることから、社会福祉施設等における避難訓練・査察により防火安全性の向上を図ります。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>高齢者の集まる機会を捉えて防火指導を行い、また新型コロナウイルス感染症により中止していた住宅防火診断を再開し、火災予防の啓発に努めました。</p> <p>また、社会福祉施設等での夜間を想定した避難訓練では、施設職員と災害時の対応を確認し、初期消火・通報・避難についての訓練も実施するとともに、査察も実施して法令違反がないよう指導しました。</p>
自 己 評 価	<p>今後もますます増える高齢者の方々を災害から守るため、住宅での防火、社会福祉施設等での防火指導を行うことができました。今後も関係機関と協力し、独居の高齢者宅への防火指導も行い、火災による死者ゼロを目指します。</p>

事業名	救命率の向上
目 標	<p>救急救命士を指導する立場の人材を養成し、救急教育計画に基づく訓練、学習を行い、知識・技能の維持・向上を図り、より質の高い救急業務を実施します。</p> <p>また、119番受付時の応急手当の口頭指導やドクターヘリ の要請を的確に判断し、救命率向上に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>改定した救急教育計画に基づき、新任救急隊員への教育訓練、多数傷病者への対応訓練を行い、救急技術の向上を図りました。</p> <p>また、通信指令員が119番通報者に応急手当を指導する技術を訓練し、救命率の向上につなげました。</p> <p>市民向けにも、市ホームページに救命処置を学ぶ動画を公開し、応急手当の普及に努めました。</p>
自 己 評 価	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、救急需要が大幅に増加する中、救急体制の維持・確保ができました。今後は、コロナ禍で受講者数が少なかった救命講習をより多くの市民に受講していただき、救命率の向上を図ります。</p>

事業名	大規模災害への対応力の強化
目標	<p>災害発生時に欠かすことのできない消防団員の加入促進及び消防団員の活動環境整備に努めます。</p> <p>また、近年多発する地震や集中豪雨等の自然災害に対し、消防職団員への研修を実施し、消防としての対応力の向上を図ります。</p>
年度末達成状況	<p>消防団員の活動環境整備について、七美分団屯所を改築し団員の方々の駐車場やホース洗い場を確保したほか、全分団の約半分の11分団に防火ヘルメット及び防火衣の更新を行い、安全性を高めました。</p> <p>消防職団員への研修として、台風により大きな被害を受けた長野市の事例について学んでもらい、今後の災害発生時の対応力の向上に努めました。</p>
自己評価	<p>消防団員の加入促進については現状を維持しつつ、今後も地域の安全を守るために重要な役割を果たす消防団員の重要性、魅力を発信し増員につなげます。</p> <p>また、コロナ禍で実施できていない市の操法大会を開催し、消火技術の向上を目指します。</p>